

**民放キー局 5 社と電通が共同で  
VODサービスを推進**

日本テレビ放送網・テレビ朝日・TBSテレビ・テレビ東京・フジテレビジョン(以下、民放キー局 5 社)と電通は、今後普及が予想されるインターネットTV<sup>※1</sup> 上において、民放各社が主体となった有料課金型のVOD(ビデオ・オン・デマンド)サービスを共同で推進していくことに基本合意しました。

テレビ受像機の機能が多様化する中、民放キー局 5 社と電通は、地上波放送でのリアルタイム視聴<sup>※2</sup> を促進し、番組視聴時間を拡大する民放独自のVODサービス(以下、民放VOD)の提供を、2012年度から2014年度を本格運用に向けた準備期間として位置付け、その導入を計画<sup>※3</sup> しています。

この民放VODは、テレビの価値を向上させるという共通認識のもと、視聴者により多くのテレビ番組への視聴機会を提供することで、テレビ番組の視聴者層を拡大し、テレビ番組のファンを増やそうとするものです。

既存のインターネットTV上でのVODサービスは、VODタイトルをメニュー等から検索するユーザーインターフェイスが主流であるのに対し、民放VODは、簡単で誰でも使いやすいユーザーインターフェイスを開発し提供することを検討しています。

なお、動画視聴の可能なデバイスの普及や、生活者のライフスタイルの多様化に対応するため、この民放VODを、インターネットTVだけではなく、スマートフォン・タブレット端末などマルチデバイスにも広げ、リアルタイム視聴に繋げる流れを作り出すことにより、テレビの価値の最大化を図っていきます。

※1: インターネットを通じて動画視聴が可能なテレビ受像機

※2: 現在放送中の番組をライブで視聴すること

※3: サービス開始時期は 6 社で検討中

以上